＜様式1＞

平成 27年 06月 04日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	上州 繭の家
グループの名称	上州　繭の家　推進グループ
直近採択グループ番号 ※過去に地域型ブランド化事業で採択を受けたグループは記入	04-0333-0117

（グループ代表者）

代表者名	石坂　孝司　代表者印
代表者所属先	有限会社鞍城建設
代表者構成員番号	Ⅵ-2
代表者所在地	群馬県沼田市材木町１３２６－１２
代表者電話番号	0278-22-2711

（グループ事務局）

事務局事業者名	石井正人建築設計事務所
事務局構成員番号	Ⅴ-1
事務局担当者名	石井　正人　印
事務局郵便番号	370-0042
事務局所在地	群馬県高崎市貝沢町2430-1 柊マンション102
事務局電話番号	027-363-7858
事務局FAX	027-363-7863
事務局担当者E-mail	imks@nifty.com

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	上州 繭の家
２．グループの名称(必須)	上州　繭の家　推進グループ
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0333-0117
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	群馬県
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	石坂　孝司
７．グループ代表者の所属先(必須)	有限会社鞍城建設
８．グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅵ-2
９．グループ代表者所在地(必須)	群馬県沼田市材木町１３２６－１２
１０．グループ代表者電話番号(必須)	0278-22-2711
１１．グループ事務局事業者名(必須)	石井正人建築設計事務所
１２．グループ事務局の構成員番号(必須)	Ⅴ-1
１３．グループ事務局担当者名(必須)	石井　正人
１４．グループ事務局郵便番号(必須)	370-0042
１５．グループ事務局所在地(必須)	群馬県高崎市貝沢町2430-1 柊マンション102
１６．グループ事務局電話番号(必須)	027-363-7858
１７．グループ事務局FAX番号(必須)	027-363-7863
１８．グループ事務局担当者E-mail(必須)	imks@nifty.com

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ. 原木供給	2	
Ⅱ. 製材・集成材製造・合板製造	2	
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ. プレカット	2	
Ⅴ. 設計	2	
Ⅵ. 施工	10	
Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通	0	
Ⅷ. 木材を扱わない流通	3	
Ⅸ. Ⅰ～Ⅷ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の①、②、③の番号を番号記入欄に記入してください。 ①都道府県の産地認証制度等によるもの ②民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) ③林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	ぐんま優良木材	群馬県	ぐんま優良木材品質認証	1	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型（長期優良住宅）経験工務店＋未経験工務店の合計	12 戸			地域材加算合計	12 戸
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	7 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	5 戸		
	うち申請が確実	0 戸	うち申請が確実	0 戸	地域材加算（うち申請が確実）	0 戸
	うち申請が未確定	7 戸	うち申請が未確定	5 戸	地域材加算（うち申請が未確定）	12 戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅） 合計	5 戸	地域材加算合計	5 戸		
	うち申請が確実	0 戸	地域材加算（うち申請が確実）	0 戸		
	うち申請が未確定	5 戸	地域材加算（うち申請が未確定）	5 戸		
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅） 合計	3 戸	地域材加算合計	3 戸		
	うち申請が確実	0 戸	地域材加算（うち申請が確実）	0 戸		
	うち申請が未確定	3 戸	地域材加算（うち申請が未確定）	3 戸		
C. 平成２７年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物					
	うち申請が確実	0 棟	0 ㎡			
	うち申請が未確定	0 棟	0 ㎡			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	?今年度の各事業者の着工棟数の予定?未経験事業者の着工予定の考慮?早い事業者優先					
E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅					
	採択戸数	7 戸	交付申請戸数	1 戸	完了実績見込み	
					竣工済	0 戸
					竣工予定	1 戸
	木造建築物					
	採択棟数	0 棟	採択床面積	0 ㎡		

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
10	Ⅰ － 6	株式会社研屋		370-0069	群馬県高崎市飯塚町805	027-361-5095
10	Ⅰ － 12	宇敷木材工業株式会社		378-0016	群馬県沼田市清水町4308	0278-23-0350
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
10	Ⅱ － 6	株式会社研屋		370-0069	群馬県高崎市飯塚町805	027-361-5095
10	Ⅱ － 12	宇敷木材工業株式会社		378-0016	群馬県沼田市清水町4308	0278-23-0350
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
10	Ⅲ － 6	株式会社研屋		370-0069	群馬県高崎市飯塚町805	027-361-5095
10	Ⅲ － 12	宇敷木材工業株式会社		378-0016	群馬県沼田市清水町4308	0278-23-0350
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
10	Ⅳ － 6	株式会社研屋		370-0069	群馬県高崎市飯塚町805	027-361-5095
10	Ⅳ － 12	宇敷木材工業株式会社		378-0016	群馬県沼田市清水町4308	0278-23-0350
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
10	Ｖ － 1	石井正人建築設計事務所		370-0042	群馬県高崎市貝沢町2430-1 柊マンション102	027-363-7858		
10	Ｖ － 14	A・U・S建築設計事務所		370-0004	群馬県高崎市井野町378-8	027-363-1837		
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							○	○
10	Ⅵ - 2	有限会社鞍城建設		378-0045	群馬県沼田市材木町１３２６－１２	0278-22-2711	○	
10	Ⅵ - 3	建築舎四季株式会社		370-0044	群馬県高崎市岩押町1-7	027-330-5550	○	
10	Ⅵ - 4	株式会社ハウス＆ホーム		372-0812	群馬県伊勢崎市連取町1538	0270-61-8992	○	
10	Ⅵ - 5	有限会社ケイハウス		370-2603	群馬県甘楽郡下仁田町馬山4335-5	0274-82-5369	○	
10	Ⅵ - 6	株式会社研屋		370-0069	群馬県高崎市飯塚町805	027-361-5095	○	
10	Ⅵ - 7	Office2.23(旧ドリームウッデイハウス)		371-0018	群馬県前橋市三俣町1-19-9	050-3716-7072	○	
10	Ⅵ - 8	恵栄建設株式会社		370-1201	群馬県高崎市倉賀野町155	027-346-0275	○	
10	Ⅵ - 9	NADIA HOME株式会社		370-0017	群馬県高崎市西島町86-3	027-381-6778		○
10	Ⅵ - 10	株式会社イタガキ建工		370-0035	群馬県高崎市柴崎町917-3	027-352-0816	○	
10	Ⅵ - 11	有限会社大山建築工業		379-0133	群馬県安中市原市344	027-380-6361	○	
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工－2（長寿命型）

<様式 2-2・Ⅵ-2>

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績				補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ. 施工-2（長寿命型）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
10	Ⅵ － 2	有限会社鞍城建設	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	○	
10	Ⅵ － 3	建築舎四季株式会社	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 4	株式会社ハウス＆ホーム	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 5	有限会社ケイハウス	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 6	株式会社研屋	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 7	Office2.23(旧ドリームウッデイハウス)	3 戸	2 戸	3 戸	1 戸	○	
10	Ⅵ － 8	恵栄建設株式会社	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 9	NADIA HOME株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 10	株式会社イタガキ建工	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 11	有限会社大山建築工業	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績						補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ．施工-3（高度省エネ型）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造認定低炭素住宅		うち木造ゼロエネ住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
10	Ⅵ － 2	有限会社鞍城建設	3 戸	3 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	○	
10	Ⅵ － 3	建築舎四季株式会社	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 4	株式会社ハウス＆ホーム	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 5	有限会社ケイハウス	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	○	
10	Ⅵ － 6	株式会社研屋	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 7	Office2.23(旧ドリームウッデイハウス)	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 8	悳栄建設株式会社	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 9	NADIA HOME株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 10	株式会社イタガキ建工	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
10	Ⅵ － 11	有限会社大山建築工業	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ．施工－４（優良建築物用）

<様式 2-2・Ⅵ-4>

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績						補助金の活用実績
Ⅵ．施工-4（優良建築物）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅		着工床面積		
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○
10	Ⅵ － 2	有限会社鞍城建設	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
10	Ⅵ － 3	建築舎四季株式会社	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
10	Ⅵ － 4	株式会社ハウス＆ホーム	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
10	Ⅵ － 5	有限会社ケイハウス	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
10	Ⅵ － 6	株式会社研屋	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
10	Ⅵ － 7	Office2.23(旧ドリームウッデイハウス)	3 戸	2 戸	3 戸	1 戸	㎡	㎡	
10	Ⅵ － 8	恵栄建設株式会社	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
10	Ⅵ － 9	NADIA HOME株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
10	Ⅵ － 10	株式会社イタガキ建工	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
10	Ⅵ － 11	有限会社大山建築工業	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通

＜様式 2-2･Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅷ. 木材を扱わない流通

<様式 2-2・Ⅷ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ. 木材を扱わない流通						
10	Ⅷ － 6	株式会社研屋		370-0069	群馬県高崎市飯塚町805	027-361-5095
10	Ⅷ － 12	宇敷木材工業株式会社		378-0016	群馬県沼田市清水町4308	0278-23-0350
13	Ⅷ － 13	住宅ソリューションズ株式会社		180-0004	東京都武蔵野市吉祥寺本町2-4-14	03-6302-3060
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅸ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種						
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 上州 繭の家	（地域型住宅供給対象地域） 群馬県
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） 上州　繭の家　推進グループ	（結成年） 2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0333-0117	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	冬の寒さに耐える断熱性能と日射取得手法　夏の日射に耐える断熱性能と通風　　中間季節の通風だけで過ごすあけっぴろげの家 これらを満たすために外皮平均熱還流率を最低0.75として0.46を目標とする（3，4，5地域対応）。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	建設地としては敷地にゆとりがある場合が多く　日射取得 通風は設計しやすい。 冬の季節風対策としての南側玄関が主力になり　　日射に対して軒・庇の出が長く、さらに西日対策が必須になり　　通風に対しては腰屋根とはいかないので開閉式トップライトや地窓等を設置する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	外観デザインは②より切妻や寄棟あるいは南面片流れ屋根が主になり　軒の出が長いデザインが必須です。 平面プランは通風を考慮し、冬の暖房は最少の方法で賄えることが重要です。 外部建具は南面は大開口で樹種ペアガラス断熱重視（日射取得）、西北東面は樹種トリプルガラス遮熱断熱を設置し（高性能アルミ樹種複合でも可）。床 壁　天井材は自然素材を使用し　調湿機能や蓄熱機能を重視した空間デザインとする。	◎
④ ①～③の背景	県北部は多雪地域、県南部の平野部は高温多湿の風土（近年全国区的になりましたが）です。日照時間は全国4位の恵まれた地区です。 また県土面積の67%が森林が占める森林県で ぐんま優良木材認証制度が14年間も続いている県産材推進県です。 昨年は日本の近代化を推進した富岡製糸場が世界遺産に登録されましたが、桑畑が広がり赤城型民家等の小屋裏2階で養蚕を行い良質な繭の生産に励んできました。繭の生産を国外に広めた「静温育」の原点が「高山社」ですが、今の温熱環境の原点の一つでしょう。 こんな背景の中、上州 繭の家 は先人達の技術を現代の技術で建設する住宅です。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	主要構造材は群馬県産材使用、土台は檜（県産材以外）　柱は杉4寸角（3.5寸でも可）　梁はスパンにより県産材以外も可とする。 羽柄材も県産材を極力使用する。内装材についての仕様材は自由とする。	◎
	②建材・資材調達の共同化や事務の合理化	建材 の調達はグループ構成員のプレカット会社が主である。 住宅設備等について構成員の協同購入システムを利用継続とする。 外皮平均熱還流率計算で最重要な外部建具の流通は継続使用し、アルミ樹脂複合サッシュにも協力依頼する。	○
	③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	特に職人さんたちについてはメンバー工務店での情報共有化が個々に浸透している。 施工エリアと職人さん達、さらに支給材と手間賃等々はさらに活性化が必須です。	○
	④生産の合理化等に向けた事務局の役割	事務局は工務店ではないので　本繭の家推進Gでは　本部がこの役割を受け持つことになります。 住宅をアッセンブルシステムととらえていますので　さらにこの分野は深化していきます。	○
b.	①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	これもブランド化よりの継続になります。 建設の性能評価基準をベースに　繭の家性能評価基準案で実践を開始したところですので　今年度中には完成したい。	◎
	②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	上記①を基準として　自主検査＋構成員の設計事務所の検査　とする。 なお　断熱材施工が重要ですのでサーモグラフィの補助使用でチェックを行う。 さらに　再度気密測定も行う。	○
	③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	標準単価の設定を行うためには、上記の資材流通や職人さんたちのある程度の把握が出来ればルールが化完成します。 他方　モデルプランに施工価格をホームページに掲載してますので　かなりのスピードで意思統一が可能になってきています。 これもブランド化からの継続作業です。	○
	④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	繭の家に住んだらこんなにメリットがある！ こんな話を　繭の家の入居者に語ってもらい　エンドユーザーに届けること、もちろんホームページ掲載やFBでの浸透が必要です。 採択されましたら　ホームページを更新します。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入			

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－２＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 上州 繭の家	(地域型住宅供給対象地域) 群馬県
2．グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 上州　繭の家　推進グループ	(結成年) 2012 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0333-0117	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理診断・点検方法の共通化	先ずは履歴情報の項目を決めねばならない。この履歴情報項目（いわゆる竣工図面等）に沿って①お客様に引渡し時にCDでお渡し ②各工務店が所有保存　ここまでが第一ステップです。これが定着後にレンタルサーバーに履歴情報をいれ　ID パスワードで 繭の家の共通管理が安く安全にできます。定期点検チェックリスト　部位別の維持保全スケジュール及び住まいの管理手帳　等は すでに実施済です。	◎
	②メンテナンス・リフォーム基準の整備	上記　部位別の維持保全スケジュールよりメンテ・リフォームの時期はユーザーにインプットされるので　メールやLINE等でも告知可能	◎
	③住まいの管理・DIY相談会体験会などの実施	上記　住まいの管理手帳　戸建編（住宅金融普及協会 編）を共通のベースとしてユーザーとのコミュニケーションはスムーズに行き、 DIY相談会は有効に機能します。	○
	④グループ内における維持管理検討委員会等の設置	上記記載の進捗により　構成工務店内でも共通の基準が出来つつあり　有効なメンテ方法等の情報交換は　LINEのグループ化等で 共通化が可能です（スマホの携帯が必須になります）。	○
b	①グループ構成員の倒産廃業時のバックアップ体制	この質問は引き渡し後　と解釈しますが？ 本 繭の家推進Gの継続性が一番の問題ですが、継続していると仮定すれば（今までの上記の前提も同様ですが）　構成員の工務店が 施工することでしょう。但し瑕疵保険適用外の工事の瑕疵については有料施工が基本です。	○
	②グループ独自の瑕疵担保ルールの整備	グループの規模もありますので独自の整備は難しい。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入			

エ．グループの技術力の向上

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	①耐震等級2・3の施工になれること。基礎工事の配筋　構造金物の使用箇所等は施工図段階での個別指導。 ②断熱材の設計段階からの選定方法、施工順序　施工方法の着工前に個別指導。 ③給水管　排水管の施工方法の注意。 ④住宅設備の配管方法（特に塩ビ使用の場合は住宅設備メーカーへの依頼）	◎
	② ①の研修会等の実施内容とその開催頻度	施工工務店から施工職人さんへ、これが最も重要です。 住宅省エネ技術講習会配布の「断熱標準施工　建築施工編」は電気屋・設備屋さんに昼休みビデオを見せる。	◎
	③総合的な需給計画の策定等の中長期的な取組	全体的に新築住宅の建設棟数は半減以下になるかもしれません。しかし　中小工務店が手掛ける住宅は、大手住宅メーカーや建売住宅 及びローコスト住宅が激減しても、わずかな減少で残ると思われます。注文住宅を求めるユーザーは地域に根差している方が多く 近代化した中小工務店の需要は減らないでしょう。少なくともITを駆使した合理化された工務店は残るでしょう。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化への取組	大工職　左官職は待ったなしです。すべての職種で減少していますが電気さんや水道屋さんはちょくちょく短時間での修理の需要が あります。 先ずは各職の空のない仕事の供給に付きますので、一定量の仕事の確保が必要になります。ある程度の組織体の大きさを水平展開 のネットワークで補い、つまり上州繭の家推進Gの大きさで補う仕組みづくりの推進です。	○
b	①省エネ技術講習会への参加目標人数	構成工務店の未参加は1社ですので　この彼らの参加必達です。	◎
	②省エネ技術講習会への参加促進のための取組	すでに設計事務所も含めて8割がたが参加してますので、前述したとおり各職の参加を促したい。上記aの取り組みが進めばグループで 日当を負担させて参加を促す。	○
c	①新たな技術等の導入や開発の検証のための方法	アンテナを広げ　外部からヒントを得て　構成員Gの取引先の助力を得ながら大手がやらない技術開発は可能です。プレカット工場や 建具屋さん等機械工具の備えがあるところで可能性が高い。	○
	②新たな技術等の導入や開発に向けた実証実験の実施等	上記が可能になれば実証実験が必要になります。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入			

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）上州 繭の家	（地域型住宅供給対象地域）群馬県
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）上州　繭の家　推進グループ	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0333-0117	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①地域材ごとの使用部位（必須）	主要構造材。柱材（4寸が基本　予算により3.5寸も可能）	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合（必須）	主要構造材はぐんま優良木材品質認証材を60%以上使用。平均使用量は120㎥の住宅（4寸角使用で）で10～11㎥。	◎
	地域材利用に関する共通ルール（必須）	土台は檜　柱は杉・檜　梁桁は杉又は唐松集成材・米松　部材は4寸が基本（3.5寸も可）	◎
	地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	原木供給者等がプレカット会社と同じため　特に説明なし。	
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組	プレカット業者より常に情報が入る為に新たなルートは不要。	○
	②グループ全体における地域材の需給予測	構造材・羽柄材で約15㎥～20㎥/棟、これの予算が10棟であれば150～200㎥です。	○
c	①-1 畳の活用	一般的な使い方	○
	①-2 和瓦の活用	一般的な使い方	○
	①-3 襖の活用	一般的な使い方	○
	①-4 障子の活用	一般的な使い方	○
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	特になし	
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	空っ風対応の玄関（位置も含め）、可能であれば腰屋根（可動トップライトで補う）。	○
	②地域の住まい方の継承につながる取組	土間がある玄関等。	○
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	特になし	
	④和の住まいの要素を取入れた取組	南面開口と濡れ縁（テラス）設置。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入			

その他

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

低炭素型住宅
躯体仕様は今まで記載の事項（外皮平均熱還流率　外部建具の使い方）プラス住宅設備の選択　24時間換気システムの選択で可能になります。
ゼロ・エネルギー住宅
躯体使用は今まで記載の外皮平均熱還流率を0.40を目指し、創エネで太陽光が必要な場合は搭載する方針です。
優良建築物型
こちらは申請しません。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。